

全国福祉高等学校長会主催
令和 6 年度 社会福祉・介護福祉検定

2 級 問 題

(80分)

◎ 指示があるまま開かないでください。

注 意 事 項

- 1 解答用紙への受検番号等の記入
解答用紙に、受検番号、学校名、クラス、氏名を記入してください。
- 2 試験問題
問題数は150問です。解答時間は80分です。
- 3 解答方法
(1) 各問題について、解答欄に番号「1・2・3」のいずれかを記入してください。
(2) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないよう完全に消してください。
- 4 その他の注意事項
(1) 印刷不良やページが抜けている場合は、手を挙げて試験監督の先生に申し出てください。
(2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。

社会福祉基礎

問題1 産業構造に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 第一次産業とは、自然から採取した資源を加工して高度な財を生産する産業である。
- 2 第二次産業とは、自然から直接資源を採取する産業である。
- 3 第三次産業とは、目に見えないサービスや情報などの生産を行う産業である。

問題2 日本国憲法に関する次の記述のうち、憲法25条第1項に規定されているものを1つ選びなさい。

- 1 「すべて国民は、個人として尊重される。」
- 2 「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」
- 3 「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」

問題3 英米の社会保障の発展に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働不能とされた貧民は、ワークハウスに入所し、厳しい労働や生活管理が行われた。
- 2 ギルバート法にて、院外救済を認められた。
- 3 世界最初の社会保障制度は、ジェーン・アダムズ(Jane Addams, 1860～1935)によって作られた。

問題4 イギリスにおける社会保障の発達について、ベヴァリッジ報告(1942)の中で、社会における5

つの悪として記述されたものを1つ選びなさい。

- 1 不潔
- 2 性悪
- 3 楽観

問題5 社会福祉の発展に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 メアリー・リッチモンド (Mary Richmond, 1861~1928) は、「国民の家」と呼ばれた構想を提案した。

2 ウィリアム・ベヴァリッジ (William Henry Beveridge, 1879~1963) は、「社会保険および関連サービス」をまとめた。

3 マーガレット・サッチャー (Margaret Hilda Thatcher, 1925~2013) は、「第三の道」にもとづく新たな福祉国家のシステムを提案した。

問題6 社会福祉施設に関する次の人物のうち、1899年に東京家庭学校を設立した人物を1人選びなさい。

1 留岡幸助

2 石井十次

3 野口幽菴

問題7 社会保障制度の範囲に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 児童手当は、公的扶助の対象である。

2 社会福祉の対象には、知的障害者、精神障害者、発達障害者が含まれる。

3 社会手当の対象には、労働災害補償が含まれる。

問題8 子どもの支援と保育に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1 保育所の根拠法は、学校教育法である。

2 幼稚園の管轄は、こども家庭庁である。

3 認定こども園の管轄は、子ども家庭庁と文部科学省である。

問題9 障害者基本法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 身体障害者は対象となるが、精神障害者は対象にならない。
- 2 社会的障壁とは、障害がある者にとって日常生活を営む際に物理的障壁となるものだけをいう。
- 3 社会的障壁は、事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。

問題10 障害の社会モデルに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ICF(国際生活機能分類)の因子には、「能力障害」が含まれる。
- 2 ICIDH(国際障害分類)の因子には、「参加」は含まれない。
- 3 ICIDH(国際障害分類)における「社会的不利」は、ICF(国際生活機能分類)の「活動」に変更された。

問題11 『障害者白書』（2021年,内閣府)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者の総数（推計値）のうち、最もその割合が高いのは知的障害者である。
- 2 障害者の生活の場について、施設入所者よりも在宅者のほうが多くなっている。
- 3 障害別の施設入所者（精神障害の場合は入院患者）の割合を見ると、特に精神障害者で施設入所者の割合が高い。

問題12 ベンクト・ニイリエ（Bengt Nirje,1924～2006）が提唱した、ノーマライゼーションの8つの原理に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 生活のさまざまな場面において、ノーマルな生活を営むことを社会が保障するという視点がまともめられている。
- 2 個人の尊厳や自己決定権に関する視点が含まれている。
- 3 その社会におけるノーマルな経済水準とそれを得る権利については、原理の中に含まれていない。

問題13 2011年の高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）の改正により設置が進めら

れてきたものを選択びなさい。

- 1 サービス付き高齢者向け住宅
- 2 ケアハウス
- 3 特別養護老人ホーム

問題14 生活保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを選択びなさい。

- 1 「生活扶助」には食費や家賃などの住居費の費用が含まれる。
- 2 「教育扶助」には高等学校の就学費用を含まない。
- 3 「介護扶助」には施設や病院への入所・入院の給付が含まれる。

問題15 生活福祉資金の種類に関する次の記述のうち、正しいものを選択びなさい。

- 1 福祉資金の対象の中に、冠婚葬祭にかかる経費は含まれない。
- 2 総合支援資金には、住宅入居費が含まれる。
- 3 福祉資金には、就学支度費が含まれる。

問題16 社会保険制度のしくみに関する次の記述のうち、正しいものを選択びなさい。

- 1 高齢者の施設介護サービスの費用は、医療保険の対象になる。
- 2 医師に処方された薬の支給に必要な費用をカバーする費用は、医療保険の対象になる。
- 3 労働者災害補償保険によって、失業手当が支給される。

問題17 医療保険の保険給付に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 埋葬にかかる費用は、保険給付金の対象外である。
- 2 義務教育就学前の子供の一部負担割合は、3割である。
- 3 食材料費、調理費相当額は、1食460円である(2021年度)。

問題18 対人支援とコミュニケーションに関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 対人支援では、利用者と支援者とのラポールの構築が求められる。
- 2 ラポールを構築するためには、人間関係とコミュニケーションに対する理解が欠かせない。
- 3 コミュニケーションは、何らかの意思や情報を一方的に相手に伝えることで成立する。

問題19 ケースワークの展開過程に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 インテークは、支援計画の実施の後に行う。
- 2 評価の後に再アセスメントが行われることもある。
- 3 プランニングに基づいて情報収集とアセスメントを行う。

問題20 成年後見制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 法定後見は、本人の判断能力に応じて、補助、保佐の2種類に分類される。
- 2 成年後見には、強制後見と任意後見がある。
- 3 家庭裁判所に選任された補助人は、付与された代理権を行使できる。

問題21 地域包括支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 権利擁護業務では、高齢者虐待に関する対応を受け付けられない。
- 2 介護予防ケアマネジメント業務では、事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成などを行う。
- 3 原則として、保健師はチームアプローチに参加しない。

問題22 失業等給付の種類に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 就職促進給付は、失業者に対し、年齢や失業理由に応じて基本手当などを支給する。
- 2 雇用継続給付は、教育にかかった経費の一部を支給する。
- 3 教育訓練給付は、教育訓練にかかった経費の一部を支給する。

問題23 スウェーデンの社会福祉サービスに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 1980年に社会サービス法が制定された。
- 2 1992年にメンデル改革が実施された。
- 3 1995年にミネルヴァ会議が開催された。

問題24 児童福祉に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2004年の母子及び父子並びに寡婦福祉法の改正により、要保護児童対策地域協議会が法定化された。
- 2 児童相談所には、児童福祉司、医師、保育士などの専門職が配置されている。
- 3 2017年の母子保健法改正により、市区町村に子育て世代包括支援センターの設置が義務化された。

問題25 戦時厚生事業に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 1936年に厚生省が設置された。
- 2 1937年に戦時災害保護法が制定された。
- 3 1938年に国民健康保険法が制定された。

介護福祉基礎

問題26 尊厳を支える介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 介護を必要とする人に対して、生きる意欲を引き出してQOL（生活の質）を高める支援を行うことが介護の役割である。

2 介護従事者が利用者の思いを代弁することは、自己決定に向けた支援ではない。

3 介護従事者の立場から自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護サービスを提供することが大切である。

問題27 高齢者の人権と尊厳に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1 高齢者が受ける虐待の種類は「身体的虐待」「心理的虐待」「介護・世話の放棄・放任」「経済的虐待」の4種類である。

2 2019年の高齢者に関する調査によると、養介護施設従事者から虐待を受けている高齢者のうち、心理的虐待を受けている人が最も多い。

3 高齢者に対する虐待は、家庭内や施設内など閉ざされた環境で発生することが多いため、表面化しにくいという現実がある。

問題28 障害者の人権と尊厳に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1 従来の障害のとらえ方には、障害は主に社会によってつくられたものであるという「社会モデル」の考え方を反映したものであったが、障害者権利条約では、障害は個人の問題であるという「医療モデル」の考え方が反映されている。

2 障害者虐待では、養護者、障害者福祉施設従事者（施設職員）というように、加害者を2種類に限定している。

3 障害者差別解消法の2021年法改正により、2024年4月から事業所による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化された。

問題29 自立に向けた支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉分野における自立は、他者の支援を受けず、自分の力で判断したり、ひとり立ちしたりすることを意味する。
- 2 リハビリテーションの本来の意味は「権利・名誉・尊厳の回復」である。
- 3 レクリエーションは主として自由時間に楽しみとして行われる自発的・創造的な活動であり、集団で行われる活動に限定される。

問題30 介護福祉士の役割と専門性に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉士は、社会福祉士及び介護福祉士法により定められた国家資格であり、心身の状況に応じた介護のみ行い、介護に関する指導は介護支援専門員が行う。
- 2 介護福祉士には「資質向上の責務」が課せられているため、職場内研修を意味するO f f - J Tなどで自己研鑽に努めることが求められる。
- 3 日本介護福祉士会倫理綱領には、「後継者の育成」についての定めがある。

問題31 プライバシーの保護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人情報保護法における個人情報とは、生存する個人に関する情報であり、名前、生年月日などにより特定の個人を識別することができるものをいう。
- 2 利用者ケアの質の向上のために、多職種間で個人情報共有することはできない。
- 3 介護福祉士でなくなった後は、業務上知り得た利用者の秘密を守る義務はない。

問題32 介護従事者と連携する専門職の役割に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 看護師は、診断や治療といった医業を行う。
- 2 社会福祉士は、介護保険制度においてケアマネジメントを行う。
- 3 理学療法士は、基本的動作の獲得をめざし身体機能の回復のための訓練などを行う。

問題33 介護支援専門員との連携に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員が、ケアプラン作成など、サービス提供に関して開く会議をサービス担当者会議という。
- 2 介護従事者は、介護支援専門員が作成した個別介護計画にもとづいてケアプラン（介護サービス計画）を作成する。
- 3 利用者の生活を支える社会資源に、ボランティアなどのインフォーマルサービスは含まれない。

問題34 災害時における支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉避難所とは、一般の避難所では避難生活が困難な高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者を対象とした避難施設である。
- 2 要配慮者とは、一人暮らし世帯の高齢者や福祉サービスを利用する障害者のことである。
- 3 被災地における支援活動は、DMATなど災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームが行わなければならない。

問題35 市区町村が出す避難情報等において、危険な場所から高齢者等は避難することを明確に示した警戒レベルを1つ選びなさい。

- 1 警戒レベル1
- 2 警戒レベル2
- 3 警戒レベル3

問題36 介護を必要とする人の生活環境に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ハートビル法と建築基準法を統合した形でバリアフリー新法が制定された。
- 2 ユニバーサルデザインとは、主に高齢者や障害者が安全で住みやすい社会をめざし、バリア（障壁）となるものを取り除くことである。
- 3 ユニバーサルデザインの7原則には、「使用方法を誤ったとしても安全で壊れない」という原則がある。

問題37 高齢者の生活に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 内閣府が60歳以上の人を対象に行った調査（2019年度）によると、生きがいを「感じている」（「十分感じている」「多少感じている」と回答した人は、全体の約4割となっている。
- 2 内閣府が65歳以上を対象とした調査（2021年）では、現在仕事をしている人のうち、「働けるうちはいつまでも」働きたいと回答したのは約7割であった。
- 3 内閣府の調査（2018年度）によると、一人暮らし世帯の60歳以上の高齢者が家族や友人と会話をする頻度は、他の世帯と比べて「1週間に1回未満、ほとんど話をしない」が多い。

問題38 高齢者に多い症状に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 不定愁訴とは、はっきりとした理由や原因があり、不定期に頭が重い、肩が凝る、腰が痛い、イライラするというような訴え、または症状のことをいう。
- 2 予備力とは、その人が持っている体力・生理機能の最大能力と、通常使用している体力・生理機能の能力の差のことをいう。
- 3 フレイルとは、筋肉量の減少に伴って筋力や身体機能が低下している状態のことをいう。

問題39 ICF（国際生活機能分類）に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害や疾患、外傷のある特定の人々のみに関係する分類である。
- 2 ICFはプラス面を重視する観点から、マイナスの表現ではなく、中立的な表現を用いている。
- 3 人間の生活機能を「健康状態」「活動」「参加」の3つの次元により構成している。

問題40 視覚障害者、聴覚・言語障害者に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 身体障害者障害程度等級表では、視覚障害は1級から7級まで、7段階に区分されている。
- 2 身体障害者障害程度等級表では、音声機能、言語機能または咀嚼機能の喪失は1級に該当する。
- 3 視覚・聴覚の両方に障害のある人は盲ろう者と呼ばれる。

問題 4 1 内部障害者の生活と支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 腎臓機能障害により、ストーマの造設が必要となる。
- 2 人工肛門や人工膀胱を造設した人をオストメイトという。
- 3 ヘルプマークは、外見から判断することが難しい内部障害者のためのマークである。

問題 4 2 障害者の手帳制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 身体障害者手帳は、1級から7級までの障害に該当する者に交付される。
- 2 療育手帳の名称は、全国統一の呼び方である。
- 3 精神障害者保健福祉手帳の交付を市町村に申請することができる。

問題 4 3 介護保険制度における住宅改修の対象とならないものを1つ選びなさい。

- 1 手すりの取り付け
- 2 引き戸などへの扉の取り替え
- 3 家庭用エレベーターの設置

問題 4 4 介護サービスに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護の生活援助には、掃除や庭の草むしりを行うことも含まれる。
- 2 居宅療養管理指導は、通院が困難な要介護者を対象に、医師や歯科医師、薬剤師や管理栄養士などが居宅を訪問し、療養上の管理および指導を行うものである。
- 3 養護老人ホームとは、60歳以上で身体機能の低下や環境、経済的理由などにより、自立した生活が困難な高齢者が低額料金で入所できる施設である。

問題45 障害者の就労支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者雇用促進法の2023年改正により、2024年4月から民間企業における法定雇用率が2.5%となった。
- 2 障害者雇用納付金制度では、障害者を多く雇用している事業主に対して給付金を徴収する。
- 3 配置型ジョブコーチは、社会福祉法人に所属するジョブコーチが事業所に向いて支援を行う。

問題46 介護におけるリスクマネジメントに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護現場では、誤嚥・誤飲・むせこみによる事故の発生割合が高い。
- 2 つま先が適度に反り返った履き物を活用することで、転倒事故のリスクを軽減することが可能になる。
- 3 ヒヤリハット報告書は、事故が発生した場合に記録する。

問題47 身体拘束に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 身体拘束は、利用者や家族に対する十分な説明が行われれば実施することができる。
- 2 自分で降りられないようにベッドを柵（サイドレール）で囲むことは、身体拘束にあたらぬ。
- 3 行動を落ち着かせるために向精神薬を過剰に服薬させることは、身体拘束にあたる。

問題48 心理面の健康管理に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護は仕事に対するやりがいや満足感、使命感を感じやすいことから、ストレスは蓄積されない。
- 2 バーンアウトの3つの要素は、情緒的消耗感、脱人格化、個人的達成感の低下である。
- 3 アンガーマネジメントとは、怒らないようにするためのプログラムである。

問題49 労働法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働基準法は、職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的としている。
- 2 労働安全衛生法は、労働時間、賃金、休日など、労働者が安全に安心して働ける最低限の労働条件について定められた法律である。
- 3 介護労働者法は、介護関係業務に携わる労働者が人間らしい環境のもとで、十分にその能力を発揮できるように、労働環境の整備と福祉の増進を目的としている。

問題50 福祉用具と介護ロボットに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 AIとは人工知能のことであり、介護福祉現場では未だ活用されていない。
- 2 状態の低下が著しい人の体動や呼吸、脈拍をIoT機器を活用して検知することができれば、介護従事者の精神的な負担軽減につながる。
- 3 福祉用具や介護ロボットの使用方法を誤っても大きな事故にはつながらない。

生活支援技術

問題51 総務省が5年ごとに行っている「社会生活基本調査」に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 睡眠や身の回りの用事、食事などは、生活行動の種類における1次活動にあてはまる。
- 2 趣味、スポーツ、社会参加活動などは、生活行動の種類における2次活動にあてはまる。
- 3 通勤、仕事、学業、介護などは、生活行動の種類における3次活動にあてはまる。

問題5 2 ライフサイクルの変化に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ライフサイクルは、少子高齢化、核家族化などにより変化してきている。
- 2 現在、平均寿命は女性、男性共に85歳を超えている。
- 3 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。

問題5 3 福祉用具の活用に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉用具導入に当たっては、医師、看護師などの専門職と連携することが必要となる。
- 2 近年、福祉用具の可能性が広がり、介護ロボットや、IoT（モノのインターネット）を組みこんだ福祉用具の開発が進んでいる。
- 3 福祉用具についての明確な定義がない。

問題5 4 感染症に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 人の体内や皮膚にはたくさんの常在菌が存在する。
- 2 ウイルスは、人や動物の細胞がなくても細胞分裂によって自己増殖する。
- 3 細菌は人や動物の細胞のなかで増殖し、単独では増殖できない。

問題5 5 ICFの構成要素に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「参加」には、車を運転する、スポーツをするなどのあらゆる生活行為、家事や余暇活動が含まれる。
- 2 「活動」には、職場や家庭内での役割、趣味の会や地域の集まりに参加するなどが含まれる。
- 3 「個人因子」は、人それぞれに見られる固有の特徴をさす。

問題56 居住環境の整備に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 居住環境の整備の意義にかかわる理念のひとつに、サクセスフル・エイジングがある。
- 2 ユニバーサルデザインは、年齢や能力の違いにかかわらず、できる限り多くの人が可能な限り使いやすいデザインをめざす考え方である。
- 3 日本では、交通事故による死者数は増加しているが、家庭内の不慮の事故による死者数は減少傾向にある。

問題57 浴室の環境整備に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 浴槽内いすは、身体が不安定となるため使用しない。
- 2 浴室内すのこは、段差ができるため危険である。
- 3 3枚引き戸への取り替えによって、開口幅が広くとれる。

問題58 食中毒に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サルモネラは5～9月の高温多湿の時期に多く発生する細菌性食中毒の一種である。
- 2 12月～2月の乾燥した時期に多く発生するウイルス性食中毒として、腸管出血性大腸菌 O157がある。
- 3 食中毒は食品の取り扱い方や衛生管理によって予防することが難しい。

問題59 家事支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 消費期限は弁当や生菓子などのように、あまり日持ちのしない食品に記載される。
- 2 消費期限や賞味期限の記載は、開封後の状態での目安である。
- 3 食品に栄養成分やエネルギー量が表示してある場合、その人の健康状態などに関わらず、とにかく高いエネルギー量のものを選ぶことが望ましい。

問題60 洗濯の方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 水と洗剤で汚れを落とす洗濯方法のことを湿式洗濯（ランドリー）という。
- 2 塩素系漂白剤は色柄ものの衣類に使用できる。
- 3 しょうゆ、コーヒー、ジュースなどのしみは、有機溶剤で落とす。

問題61 循環型社会形成推進基本法における3Rの考え方に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 リサイクルできないものは、焼却してその熱を利用する。
- 2 最終的にゴミとなったものは、環境を破壊しないように処分する。
- 3 排出ゴミの量を減らす。

問題62 防虫剤の特徴に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ナフタレンは、防虫剤の中でも即効性があり、ウールなどの衣類に適している。
- 2 パラジクロロベンゼンは、効果は弱いがゆっくりと持続する。
- 3 しょうゆは、昔から使われている防虫剤で、すべての衣類に使用でき、着物の保存時にも最適。

問題63 クリーニング・オフ制度に関する記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問販売で適用されるのは、法定の契約書面の交付された日から7日間である。
- 2 訪問販売で適用されるのは、法定の契約書面の交付された日から8日間である。
- 3 訪問販売で適用されるのは、法定の契約書面の交付された日から10日間である。

問題64 身じたくの支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護従事者がT字カミソリを使用してひげそりを行うことは認められていない。
- 2 爪は1日で0.01mm伸びる。
- 3 手よりも足の爪の方が早く伸びる。

問題65 爪の整え方に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 手の爪は、指の形にそって自然な「バイアス型」に整えると、指先の巧緻性が保たれやすい。
- 2 足の爪は、「スクエアオフ」の形に整えると、立ち上がりや歩行などで足の先にかき入れやすくなる。
- 3 深爪や、爪の角を斜めに切る「ラウンド型」は、巻き爪の原因となりやすいため避ける。

問題66 移動の意義に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 更衣はIADLに含まれる。
- 2 起居動作、移乗動作、更衣動作の3つを基本動作という。
- 3 生活不活発病では、認知症や意欲の低下を引き起こす。

問題67 良肢位に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 肩関節の良肢位は30～45度である。
- 2 膝関節の良肢位は屈曲30度である。
- 3 肘関節の良肢位は屈曲90度である。

問題68 歩行の支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 肢体不自由・虚弱の人の支援では、介助者は半歩斜め後ろから歩行を支援する。
- 2 視覚障害のある人の支援では、介護従事者は利用者の半歩斜め前に位置し、利用者に介護従事者の肘のすぐ下をにぎってもらう。
- 3 視覚障害のある人が白杖を使って歩行するとき、介護従事者は常に状況を口頭で伝えながら支援する。

問題69 摂食・嚥下の流れに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 蠕動運動により、食塊を胃へ送るのは食道期である。
- 2 食塊を主に舌を使って咽頭に送るのは咽頭期である。
- 3 食べ物の形や色、においなどを認識するのは準備期である。

問題70 座位での正しい食事姿勢に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食べこぼしを防ぐため、からだとテーブルの距離はできるだけ近い方がよい。
- 2 浅めに腰を掛けた方が上肢の可動域が広くなるため食事がしやすい。
- 3 テーブルの高さは、利用者がひじを楽に乗せられる高さがよい。

問題71 脱水予防に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 人間のからだの成分は、成人で体重の約60%が水分である
- 2 1日に摂取・排出される水分はどちらも2,000ml程度である。
- 3 飲水として、1日に1,000ml程度の水分摂取が理想である。

問題72 入浴の作用に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 微温浴とは35℃以上37℃未満の入浴温度のことをいう。
- 2 高温浴は、副交感神経の緊張を促し、活動性の向上や心拍数を上昇させる働きがある。
- 3 水中では、空気中に比べて約1/9程度の重さになるといわれている。

問題73 一般浴による入浴方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者が陰部を洗う場合は、介護従事者は少しその場から離れ、プライバシーを守りながら見守る。
- 2 浴槽に入る際、麻痺がある場合は健側⇒患側の順番で足を入れる。
- 3 シャワーの湯温は、まず利用者本人に適温かどうか確認してもらおう。

問題74 全身清拭に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 準備する湯の温度は45～50℃程度がよい。
- 2 上肢や下肢を拭く際は、中枢から末梢に向けて拭くとよい。
- 3 腹部を拭く際は「の」の字になるように拭くとよい。

問題75 入浴・清潔保持の支援における留意点に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 乾燥性皮膚疾患がある場合、かゆみは、高温の湯に長く入ると増強する。
- 2 褥瘡がある場合、褥瘡部位は皮膚が敏感になっているため、石けんなどは使用しない。
- 3 疥癬がある場合は、入浴が疥癬を悪化させる恐れがあるため、清拭が好ましい。

問題76 排泄のしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 尿は腎臓で生成され、成人で1日に2,500ml排出する。
- 2 排尿する場合、膀胱が膨張し、尿道括約筋がゆるみ排尿される。
- 3 膀胱内に尿が充満しているにもかかわらず排尿できない状態を尿閉という。

問題77 排便のしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 排便は、下行結腸→上行結腸→横行結腸の順に蠕動運動をしながら直腸へ送られる。
- 2 小腸で水分が吸収され、大腸で栄養が吸収される。
- 3 排便しない場合、外肛門括約筋を締めて便をもらさないようにする。

問題78 排泄方法の検討に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 座位をとることができない場合は、おむつを使用する。
- 2 おむつは最終手段として使用する。
- 3 歩けなくても立位が可能な場合は、トイレを使用する。

問題79 ポータブルトイレでの排泄支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ポータブルトイレは、小型で軽量の物を選ぶ。
- 2 居室でポータブルトイレを使用する時は、換気のためカーテンやドアは開けておく。
- 3 ポータブルトイレは、ベッドの足元に置くことが基本である。

問題80 溢流性尿失禁に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 膀胱内に残尿があり、あふれ出す状態をいう。
- 2 適切な排泄動作が行われないうちに漏れる。
- 3 急に強い尿意を感じ、トイレまで間に合わず漏れる。

問題81 睡眠の種類に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 ノンレム睡眠とは、「脳自身が眠る深い睡眠」である。
- 2 ノンレム睡眠は、「急速な眼球運動をともなう睡眠」である。
- 3 レム睡眠は、「浅い眠り」である。

問題82 睡眠に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 朝の日光を浴びることによって、直ぐにメラトニンが分泌される。
- 2 概日リズムは、体内時計によってコントロールされている。
- 3 睡眠は、QOLにも影響を与える。

問題83 睡眠障害に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 眠りが浅く途中で何度も目が覚めてしまうことを早朝覚醒という。
- 2 入眠障害の症状は、寝つきが悪いことである。
- 3 熟眠障害は、全く寝付けないことをいう。

問題84 レクリエーションに関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 レクリエーションの語源には、疲労をいやして元気を取り戻すという意味合いがある。
- 2 レクリエーションは、集団で行う活動に限定される。
- 3 レクリエーションの場において、アイスブレーキングの技法が活用されている。

問題85 加齢に伴う心身の変化に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 適応力が向上する。
- 2 反射機能が低下する。
- 3 温度に対する感受性が鈍くなる。

問題86 出血に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 毛細血管性出血は、暗赤色の血液がばたばたと垂れる。
- 2 動脈性出血は、赤色の血がにじみ出る。
- 3 出血した際は、細菌感染の恐れがあるため、感染対策に留意する。

問題87 緊急時の対応に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 チョークサインは、誤嚥の際に見られることがある。
- 2 熱中症は、高温多湿の環境下で体液のバランスが崩れ睡眠調節がうまく働かなくなっただけのために起こる。
- 3 湯たんばやカイロの使用は、高温やけどを起こすことがある。

問題88 災害に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 人為災害には「地震」がある。
- 2 化学事故や生物事故、爆発事故などによる災害を総称して特殊災害という。
- 3 DMA Tとは、災害急性期に活動できる機動性を持った医療チームのことである。

問題89 終末期の支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 痛みには3つの側面があり、「身体的」、「社会的」、「霊的」な要因で起こる。
- 2 アドバイス・ケア・プランニングは、「人生会議」のことである。
- 3 キューブラー・ロスは、4つの段階を経て死を迎えたと述べた。

問題90 死を迎える人への支援に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日本における死因の第1位は「心疾患」である。
- 2 乏尿とは、1日の尿量が400ml以下になった場合をさす。
- 3 悲嘆のプロセスを支援していくことをエンゼルケアという。

ここからただの理解

問題91 生活と健康に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 QOLは、その人らしく充実した生活を送るという意味で用いられる。
- 2 平均寿命とは、現在の年齢での平均余命のことである。
- 3 食事や運動・喫煙・ストレスは、生活習慣病に深く関与している。

問題92 人間の欲求に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 マズローは、人間の基本的欲求を6段階に分けて説明した。
- 2 マズローは、欲求には欠乏欲求と成長欲求の2種類があるとした。
- 3 マレーは、人間の欲求を生理的欲求と心理的欲求の2つに分類した。

問題93 動機に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 セリグマンは学習性無力感に関する研究をし、それがポジティブ心理学の創設につながった。
- 2 不安や緊張などが生じた時、それを弱めるために何らかの行動を起こすことを内発的動機という。
- 3 人が何か行動を起こす時、その原動力となるのが動機である。

問題94 思考・感情のしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 他者の感情を理解できるかどうかを知るためのものとして、サリー・アン課題がある。
- 2 エクマンは、人間には7つの基本的感情があると考えている。
- 3 ロールシャッハテストは、性格特性は12尺度からなり、5種型で整理される。

問題95 記憶に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 作業記憶は、長期記憶に当てはまる。
- 2 エピソード記憶は、長期記憶の非陳述記憶に当てはまる。
- 3 感覚記憶の保持時間は、長くても数秒である。

問題96 からだのしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血糖が上昇すると膵臓からグルカゴンが分泌され血糖を下げる。
- 2 自立神経は、交感神経と副交感神経に分けられる。
- 3 不随意筋は、自分の意思で収縮できる。

問題97 呼吸器のしくみに関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 下気道は喉頭・気管・気管支をいう。
- 2 キーゼルバッハ部位は毛細血管が多く、鼻出血を生じやすい。
- 3 肺と外の空気を交換し、肺胞と毛細血管内の血液の間でガス交換をすることを外呼吸という。

問題98 生活動作に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 5大栄養素は、たんぱく質、脂質、糖質、炭水化物、ミネラルである。
- 2 咽頭期は、食塊が舌と口蓋の圧力と重力の作用で咽頭に送られる。
- 3 座位をとることは、意識レベルを覚醒させるための基本になる。

問題99 入浴に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 褥瘡のステージⅢは、真皮までの皮膚の損傷である。
- 2 汗腺にはエクリン腺とアポクリン腺がある。
- 3 入浴には浮力作用、静水圧作用、温熱作用がある。

問題100 排泄に適切なものを選択びなさい。

- 1 弛緩性便秘は、男性や若年者に多い。
- 2 排尿は神経により調節されている。
- 3 器質性便秘の場合は、生活習慣の改善が必要である。

問題101 良肢位に関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 四肢のすべての関節が曲がっておらず、まっすぐになっている状態である。
- 2 拘縮や関節可動域が制限された場合でも、ADLを行ううえで最も支障の少ない肢位のことである。
- 3 生活不活発病の予防に効果がある。

問題102 嚥下に関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 食塊を形成する時期を先行期という。
- 2 軟口蓋を押し上げ、鼻道を閉鎖し、喉頭蓋で気道を閉鎖する時期を口腔期という。
- 3 食道の蠕動運動と重力により、食塊は胃の入り口まで移送される。この時期を食道期という。

問題103 入浴に関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 湯温は、本人の好みというより身体に与える影響が重要視されるので、決められた温度に設定する。
- 2 心身機能を促進し、体力を消耗させるプラス面がある。
- 3 38度から41度の湯温での入浴は、副交感神経が優位である。

問題104 仙骨部が褥瘡の好発部位となる体位を選択びなさい。

- 1 側臥位
- 2 腹臥位
- 3 仰臥位

問題105 排尿のしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1日に約1500の原尿が作られるが、実際に排尿されるのはその約1%である。
- 2 膀胱の容量には個人差があるが、おおよそ10程度蓄尿することができる。
- 3 交感神経の働きによって、膀胱の収縮を促し排尿される。

問題106 排便のしくみに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食後、約18時間程度で排便される。
- 2 食後、約8時間程度で、食物残渣などが横行結腸に到達する。
- 3 食後、約7時間程度で、食物残渣などが粥状になっている。

問題107 便失禁に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 漏出性便失禁は、内肛門括約筋が障害されることによりおこる。
- 2 切迫性便失禁は、骨盤底筋群の機能が低下することによりおこる。
- 3 溢流性便失禁は、腹圧がかかると少しもれることである。

問題108 からだの発達に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 腕を自由に動かせるようになってから、体感がしっかりとしてくる。
- 2 指先で物をつかめるようになってから、手で物をつかめるようになる。
- 3 首がすわってから、座れるようになる。

問題109 フロイトが提唱した理論に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい

- 1 幼児期までの間にいくつつかの発達段階があり、それぞれの時期に欲求が満たされるかどうかによって性格が異なってくる。
- 2 子どもの知能の発達に着目した。
- 3 人との社会的関係から8段階の心理社会的発達を示した。

問題110 エリクソンの発達段階に関する次の組み合わせのうち、その段階と心理社会的危機が一致しているものを1つ選びなさい。

- 1 青年期 - 勤勉性 対 劣等感
- 2 児童期 - 自己同一性 対 同一性拡散
- 3 幼児期後期 - 自主性 対 罪悪感

問題111 次の言葉とその意味が一致しているものを1つ選びなさい。

- 1 エイジズムとは、性差別のことである。
- 2 レイシズムとは、人種差別のことである。
- 3 ステレオタイプとは、年齢差別のことである。

問題112 次の人物名と理論が一致しているものを1つ選びなさい。

- 1 ストラーラーは、高齢者に対する認識に誤りがあるので、その知識を訂正すれば偏見をなくしていくことができるとした。
- 2 パルモアは、老化に関して、普遍性、固有性、進行性、有害性の4つの原則を挙げた。
- 3 スキヤモンは、一般型、神経型、リンパ型、生殖型の4つのパターンで、こころやからだのしくみが特徴的に発育することを示した。

問題113 パーソン・センタード・ケアに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 職員中心であるが、個性性を重視したケアが重要であるという考えが広まった。
- 2 認知症の人の行動にどのような理由があるのかを考えることが大切である。
- 3 情報を集めてニーズを見つける2つのステップが必要であると考えられている。

問題114 軽度認知障害に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知機能障害がないにも関わらず、日常生活が自立していない状態のことである。
- 2 早期の適切な支援により症状の進行の抑制や認知機能の改善が可能である。
- 3 BPSD（行動・心理症状）の1つである。

問題115 地域包括支援センターに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい

- 1 運営主体は、市町村である。
- 2 認知症施策推進5か年戦略の策定の際に創設された。
- 3 医療・保健・福祉の専門職2名以上と専門医を加えた3人以上の配置が必要である。

問題116 レビー小体認知症に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 神経変性疾患である。
- 2 罹患者は他の認知症に比べて少ない。
- 3 抗凝固薬・抗血小板薬が治療薬として用いられる。

問題117 アルツハイマー型認知症に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認知症の原因として、脳血管性認知症の次に多い。
- 2 海馬周辺に、びまん性の大脳萎縮が認められる。
- 3 明確に病識がある。

問題118 認知症の診断方法について、適切なものを一つ選びなさい

- 1 MMSEやHDS-Rは、認知機能検査である。
- 2 CT、MRIは、血流低下のパターンを確認するために行う。
- 3 SPECTは、脳の萎縮の程度や血管障害の確認のために行う。

問題119 国際生活機能分類に関する記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 障害は個人に有するものであるという考えで、医学モデルを採用している。
- 2 障害を3つの次元の構造として捉えている。
- 3 生命・生活・人生を包括する生活機能という考えを取り入れている。

問題120 インクルージョンの理念に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 世界人権宣言に取り入れられている理念である。
- 2 障害の有無にかかわらず、互いの多様性を認め合い、共に支え合う地域社会の実現が求められている。
- 3 障害があっても、障害がない人と同じような生活を営むことができる社会の実現を意味する。

問題121 脊髄損傷に関する記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 脊髄は、頸髄、胸髄、腰髄からなる。
- 2 内部障害の代表的なものである。
- 3 損傷した部位によって影響する機能は異なる。

問題122 脳血管疾患に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 脳塞栓は、体内で形成された血液のかたまりや異物によって、脳の血管が詰まることで起こる。
- 2 脳出血は、脳の血管の動脈硬化により起こる。
- 3 脳梗塞は、動脈瘤が破裂することにより、脳の血管が詰まることで起こる。

問題123 虚血性心疾患に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 狭心症は、胸の中央部が締めつけられるような痛みがある。
- 2 心筋梗塞は、痛みが数分から15分程度持続する。
- 3 心筋梗塞の発作時には、ニトログリセリンを舌下投与する。

問題124 慢性閉塞性肺疾患に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 罹患すると、自然と口すぼめ呼吸になる。
- 2 喫煙経験があると、高齢には必ず発症する。
- 3 罹患すると、肺にたまった空気を吐き出しにくい。

問題125 高齢者の健康に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 パルモアは、加齢や疾患により全身の筋力が低下することをいう。
- 2 ヘルスプロモーションは、高齢者に対する健康の維持増進のためにWHOが提唱した。
- 3 日本の健康寿命と平均寿命の差は、欧米と比べて長い。

コミュニケーション技術

問題126 ジョハリの窓に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 未知の窓とは、自分は知っているが相手は知らない自己についてのことである。
- 2 盲点の窓とは、自分も相手も知らない自己についてのことである。
- 3 開放の窓を大きくすることで、自己理解を深めると共に対人関係を進展させ、信頼関係を築くことにつながる。

問題127 Bさん（80歳、女性）は夫と二人暮らしをしている。最近、Bさんが自宅で閉じこもりがちになったため、夫は近所の地域包括支援センターに相談に行った。その後、自宅を訪問した相談員はBさんから「動きたくても動けないのがつらくて、死んでしまいたい」という思いを聞いた。

Bさんの思いを受容している相談員の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ご主人が心配していますよ。
- 2 そのうち動けるようになりますよ。
- 3 死にたくなるくらいつらいですね。

問題128 バイステックの7つの原則に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 クライエントの感情表現を大切にすることを「統制された情緒的関与」という。
- 2 クライエントを一方的に非難しないことを「非審判的態度」という。
- 3 クライエントを個人としてとらえることを「受容」という。

問題129 コミュニケーション技法に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ミラーリングとは、相手の表情やしぐさなどを鏡映しのように真似る技法である。
- 2 利用者を理解するためには、オープンド・クエスチョンを用いて質問をする。
- 3 アクティブ・リスニングを行う際には、援助者が抱いた思いや考えは心にしまっておき、聴くことに集中する。

問題130 動機づけに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 外発的動機づけの方が、深い満足感が得られて長続きしやすい。
- 2 自律性、自己効力感、他者からの受容感を高めることで、利用者の内発的動機づけを高めることができる。
- 3 外発的動機付けとは、自分からしたいと思っって行動することである。

問題131 高齢者とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 老化により、本来の性格の一部が拡大して現れたり、突出していたところが引っこめられたりして、それまでとは違う人格になる人もいる。
- 2 身体的な衰えは、心理面にほとんど影響しない。
- 3 老人性難聴は、言葉がはっきりと聞き取りにくくなるが、聞こえにくさは起きない。

問題132 障害に応じたコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 視覚障害のある人に物の場所を説明する際には、クロックポジションが有効である。
- 2 聴覚障害のある人と口話でコミュニケーションを取る場合は、通常よりもゆっくりと、口の形は誇張して動かし、文節で区切るようにする。
- 3 知的障害のある人とコミュニケーションを取る場合、イラストなどの非言語的コミュニケーションは理解することが難しいので避ける。

問題133 福祉実践におけるコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 支援を必要としている高齢者や障害者は、自分の思いや要求を相手に伝えることができず、満足のいく生活ができない人もいる。
- 2 イーガンが示した「SOLE R理論」の5つの基本動作のひとつは、利用者の真横に立つことである。
- 3 コミュニケーションを妨げる要因には、身体的要因、心理的要因、物理的要因の3つがある。

問題134 コミュニケーションの分類に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 声の抑揚や声の速さは、言語的コミュニケーションに分類される。
- 2 非言語的コミュニケーションには、繊細な気持ちや感情を表現したり、言葉の意味を補ったりするはたらきがある。
- 3 同時に発せられた言語と非言語のシンボルが矛盾したメッセージを伝えている場合、聞き手は言語メッセージの方が相手の本心だと受け止める傾向にある。

問題135 コミュニケーションの基本技術に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 相手のからだに直接触れる行為は、相手のプライベートな空間に直接入りこむことになるため、慎重さが必要である。
- 2 パーソナルスペースの「社会的距離」とは、講師と聴衆のような公的な関係を指す。
- 3 話し合いの場面では、真正面に対面する位置の方が、90～180度の斜めの位置より話し合いやすい。

問題136 利用者や家族との関係作りに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 信頼関係を築くための支援は、アセスメントの段階から始まる。
- 2 方向づけの段階は、利用者と家族が介護職に対して、信頼できるか否かを判断する時期を指す。
- 3 利用者や家族と共にコミュニケーションをとりながら問題解決の方向へと進むことが、信頼関係を築く源となる。

問題137 高齢者の特性に応じたコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者とのコミュニケーション場面では、相手の気持ちに寄り添う支持的態度と相手の考え方や行動を認める共感的態度が必要となる。
- 2 認知症や脳血管障害がある場合、必要な言葉が出てこない、相手に伝えたい言葉を選びだすのに時間がかかるなど、会話に支障が出ることもある。
- 3 利用者とコミュニケーションを取る際には、会話を弾ませるため、3（聞く）対7（話す）を意識するとよい。

問題138 認知症の人に対して行われるアプローチに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ユマニチュードとは、感情レベルに焦点を当てた認知症の人とのコミュニケーション方法である。
- 2 バリデーションとは、見る、話す、触れる、立つの4つの要素を介護の柱としている。
- 3 パーソン・センタード・ケアとは、認知症の症状に着目するのではなく、周囲の人々とかかわりを持ち、人として尊重されていると認知症の人自身が実感できるように、当事者を中心として共に行っていくケアのあり方である。

問題139 認知症の人とのコミュニケーションに関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 静かな場所で落ち着いてゆっくりと話をする。
- 2 情報を伝える時は、一度にまとめて伝える。
- 3 非言語的コミュニケーションを活用する。

問題140 介護におけるチームのコミュニケーションに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 報告をする際には、事実と意見は分けずに伝える。
- 2 会議には、申し送りなどの情報共有を目的とした会議とケアカンファレンスなどの課題解決を目的とした会議がある。
- 3 記録は情報を共有することや支援の内容を統一することに繋がるが、コミュニケーションツールにはならない。

介護過程

問題141 介護過程の意義・目的に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護職が専門的知識・技術を用いて介護過程を展開することで、科学的な根拠にもとづいた介護の実践が可能となる。
- 2 介護過程の目的は、介護過程の一連のプロセスを展開することによって、介護職の理想の介護を実現することである。
- 3 介護職自身による自己選択・自己決定を尊重する視点も重要である。

問題142 ICFに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1980年にWHOにより定義された。
- 2 生活機能は、健康状態、心身機能・身体構造、活動、参加からなる。
- 3 ICFを用いることにより、障害や疾病のある人やその家族、保健・医療・福祉など幅広い分野の専門職が、障害や疾病の状態についての共通理解を持つことができる。

問題143 ICFに関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 「着替えには時間がかかるが、自分でできる」は、「活動」に該当する。
- 2 「手指を動かす際に制限がある」は、「環境因子」に該当する。
- 3 「動物が好き」は、「健康状態」に該当する。

問題144 アセスメントに関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 アセスメントの目的は、情報の解釈・関連付け・統合化を行うことである。
- 2 利用者にかかわる情報は意図的に収集する必要がある。
- 3 利用者本人以外の人から得られる情報を客観的な情報という。

問題145 介護計画に関する次の記述のうち、誤っているものを選択びなさい。

- 1 介護計画書には、生活課題、長期目標、短期目標、具体的な支援内容・支援方法の項目がある。
- 2 長期目標の主語は利用者とし、利用者の望む姿や状態を表現する。
- 3 目標達成に向け期限を設定するが、これが評価をする時期となる。

問題146 介護サービス提供の記録に関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 記録を訂正する場合には、修正液または修正テープを使用し、元の字が見えないようにしておく。
- 2 社会福祉士及び介護福祉士法では、サービス提供時の記録が義務づけられている。
- 3 提供したサービスの内容や利用者の生活のようすは、介護記録（経過記録）に記載する。

問題147 介護計画の評価に関する次の記述のうち、適切なものを選択びなさい。

- 1 介護計画に定められた実施期間が終了しなければ、評価をしてはならない。
- 2 評価実施日の決定後、評価の基準を検討する。
- 3 目標達成できなかった場合は、その理由と今後の対応を検討する。

問題148 チームアプローチに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サービス担当者会議を開催するかどうかは、利用者や家族の意向による。
- 2 利用者にかかわる職種は、個別サービス計画をもとに課題解決に向けて連携を行う。
- 3 ケアカンファレンスを実施することで、介護の質も向上していく。

問題149 ケアマネジメントに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 モニタリング後、各専門職が個別サービス計画を作成する。
- 2 ケアプランは、居宅サービス計画、施設サービス計画、サービス等利用計画に大きく分けられる。
- 3 ケアプランの原案を作成後、サービス担当者会議を経て、ケアプランが確定する。

問題150 Aさん（70歳、女性）は昔からおしゃれが好きで、身だしなみをきちんと整えていた。部屋のタンスの中には、これまでに購入したおしゃれ着がたくさんある。しかし、最近は、衣類を適切に選ぶことができず、衣類の裏表を間違えてしまったり、身だしなみを整えることができなくなってきた。日中も寝巻のまま過ごすことが多く、以前は積極的に参加していたレクリエーション活動にも参加しなくなってきた。

長期目標を「身だしなみを整え、おしゃれを楽しみながら、レクリエーション活動に参加できる」とし

た時の短期目標として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 積極的にレクリエーション活動に参加できる。
- 2 衣類を正しく選択でき、着替えることができる。
- 3 以前のようにおしゃれを楽しむことができる。

受験番号	学校名	
クラス、	年 組 番	氏 名

●各問題について、解答欄に番号「1・2・3」のいずれかを記入してください。

社会福祉基礎

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
①	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25

介護福祉基礎

26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
②	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

生活支援技術

51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76
③	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88
90												

ここらからの理解

91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103
104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116
④	117	118	119	120	121	122	123	124	125			

コミュニケーション技術

126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138
⑤	139	140										

介護過程

⑥	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150		
---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--	--

①の得点	②の得点	③の得点	④の得点	⑤の得点	⑥の得点
------	------	------	------	------	------

①～⑥の合計	/150
--------	------